



Campus[®]

KOKUYO NOTEBOOK

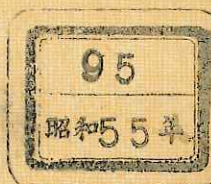
Ltd. manufactured this campus note book, using carefully selected writing paper, which is suitable for writing in pen as well as in pencil.

(3)

①

インコの研究

国文学会賞第三十四回入選作品



山形市立第一小学校
4年2組 鬼嶋栄次

ノ-3A 30枚



目次

1. 研究の重カ機	1
2. 研究の方法	2
3. 研究の実際	3
(1) おやのセキセイインコと1回目2回目のひなのかんさつ	3
(2) 3回目のひなのかんさつ	30
(3) どんなしゅるいのえさを食べるか	42
(4) インコはこの国の鳥か	45
(5) インコのしゅるい	46
(6) セキセイインコのしゅるい(色)	48
(7) 小鳥たちの色とオスメスのくべつ	51
4. 研究で、わかったこと (まとめ)	52
5. 研究反省	54
6. 参考資料と協力してくれた人	56

1. 石研究の動機

家のセキセイインコはオス1匹きだったけど、おばさんからメスのセキセイインコ1匹きもらって、たまごをうんだ。2月ごろになると、ひながかえった、とんどんせいちょうしてかんせんのおや鳥になった。2回目のひながうまれ、またせいちょうして大きくなっていきました。インコのしゅりいとしてはセキセイインコしかしらなかったのて、このインコの石研究をすることにしました。

2.研究の方法

(1) おやのインコと回目2回目のひなの観察をする。

(ア) 大きく育つようす。

(イ) 食べもの。

(2) とんないゆるいのえさをたべるかしらべる。

(3) 3回目のひなのかんさつをしる。

(4) インコは、どこの国の鳥かしらべる。

(6) セキセイインコのしるい。

(7) 小鳥たちの色とオスメスのくべつ。

(8) 研究してわかったことを文に書く。

3. 石研究の実際

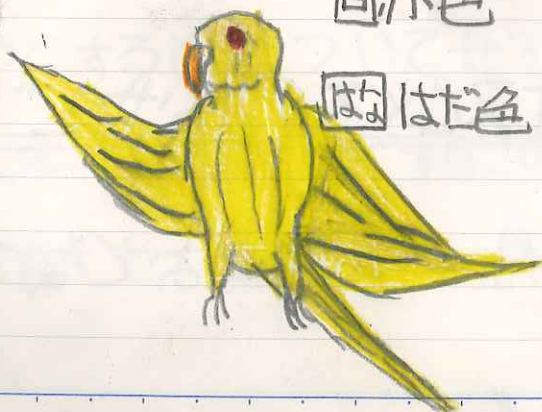
(1) おやのセキセイインコと、1回目2回目のひなのかんさつ

オス(ケイソノ)-----頭黄色全体にうすくあわいろ はねみどりうすねずみ色目黒色(高級
セキセイ)はねせなか みどり色尾ねずみ色はな青色メス(ルチン)-----頭はねはせなか尾

黄色

目赤色はなはだ色

オス



メス



オスとメスのおやどりです。

4ヵ月〜7ヵ月でおとなになります。

1回目のひなのかんさつ

1月1日 オスとメスいっしょにかごに入れる。

1月15日 メスカごの下にいてあるしんぶん紙をやびきはじめる。す作りをはじめるじゅんびをする。
(新聞紙をこまかく口はしてちぎっては、いっしょに集める)

1月22日 だいごかんはって、毎日しんぶん紙をこまかくしてすづくりをしているのでかゆいそうになってすばこの中にわら(やしの奥のかわ)を入れてやりました。メスは首をふたふたこんですぐすの中にはいってきました。オスがつかろうとするとついついてせうたいいれせん。メスはえさを食べてすぐすばこの中に入って、わらを口はしてなおして たまごをすみやかはうにしてきます。

お母さんは女のしろだね。やっぱり女は強いね。
と言っています。

1月2日 1にめのたまごを生んだようです。

えさを食べたり、らんをするときのほかは、
ぜんぜんすばこから出てきません。

たまごをしんけんにあたためているのです。

ふんは1日1回か2回です。

ふんは太くて大きいのは、おどろきました。

お母さんにきいたら、太いらんをするのは、日一回にして

たまごにあたためるのがまんしているからだよ。

そうでないたまごをあたたまらなくて赤ちゃん
がかえすといふこまるからだよとおしえてくれまし
た。

1月26日 2こめのたまごを生だようです。

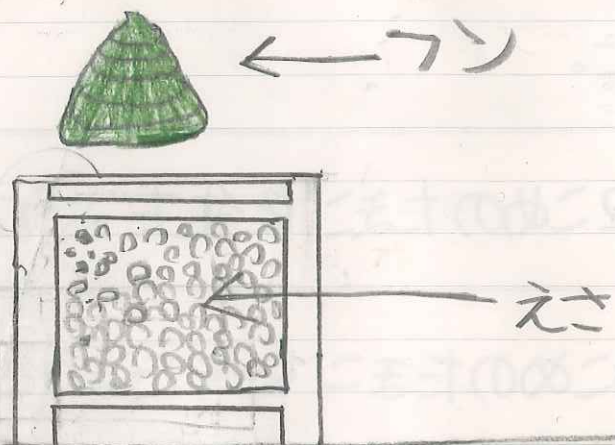
1月27日 3こめのたまごを生だようです。

1月28日 4こめのたまごを生だようです。

たまごは毎日1にずつ生みます。

オスはメスがたまごをあたためている間えさを
食べたりのんだいして、メスに口うつしてえさを食べさ
せています。

メスはすばこの入口でまっています。オスはすばめ
中にいっぽもはいることができません。



メスのふんは、1週間もするとピラミッドのように
山盛りになります。

同じ戸所にしかたれないからです。

オスのふんはこまい小さな米つぶが2こあわせたくら
いの大きさです。

2月13日 はじめて1番目の赤ちゃんのたんじょうです。

小さなよい声で「ピーピー」としずかにきこえ
た。メスはふんをいじりて、すぐそばこに入って、
赤ちゃんにえさをやったりたまごをあたまめたり
しているのです。

2月15日 2番目の赤ちゃんのたんじょうです。

1番目の赤ちゃんのなき声は日に日にたかくなって
いきます。

2月17日 3番目の赤ちゃんのたんじょうです。

2月25日 4こ目のたまごはかえりませんでした。

きみのついたからを口にくわえてメスは、すばこからはこんで新聞紙の上におとしました。

オスはだんだんえさはこむの回数が多くなりほはメスはらんをするほかは、すからできません。

3月1日 16日目でメスはすばこの中にあるこどもたちのらんをすばこの外にはひだす。口にくわえてにつづい、しょうけんめいになてはこぶ。オスは見ているだけです。メスは旧じゅうらんはこひだけてこどもたち5にえさをやらなかった。

3月2日 きょうからメスがオスをいじめ始めた。両足をつかんで、くみあいのけんかだ。プロレスのようだ。3回か4回も

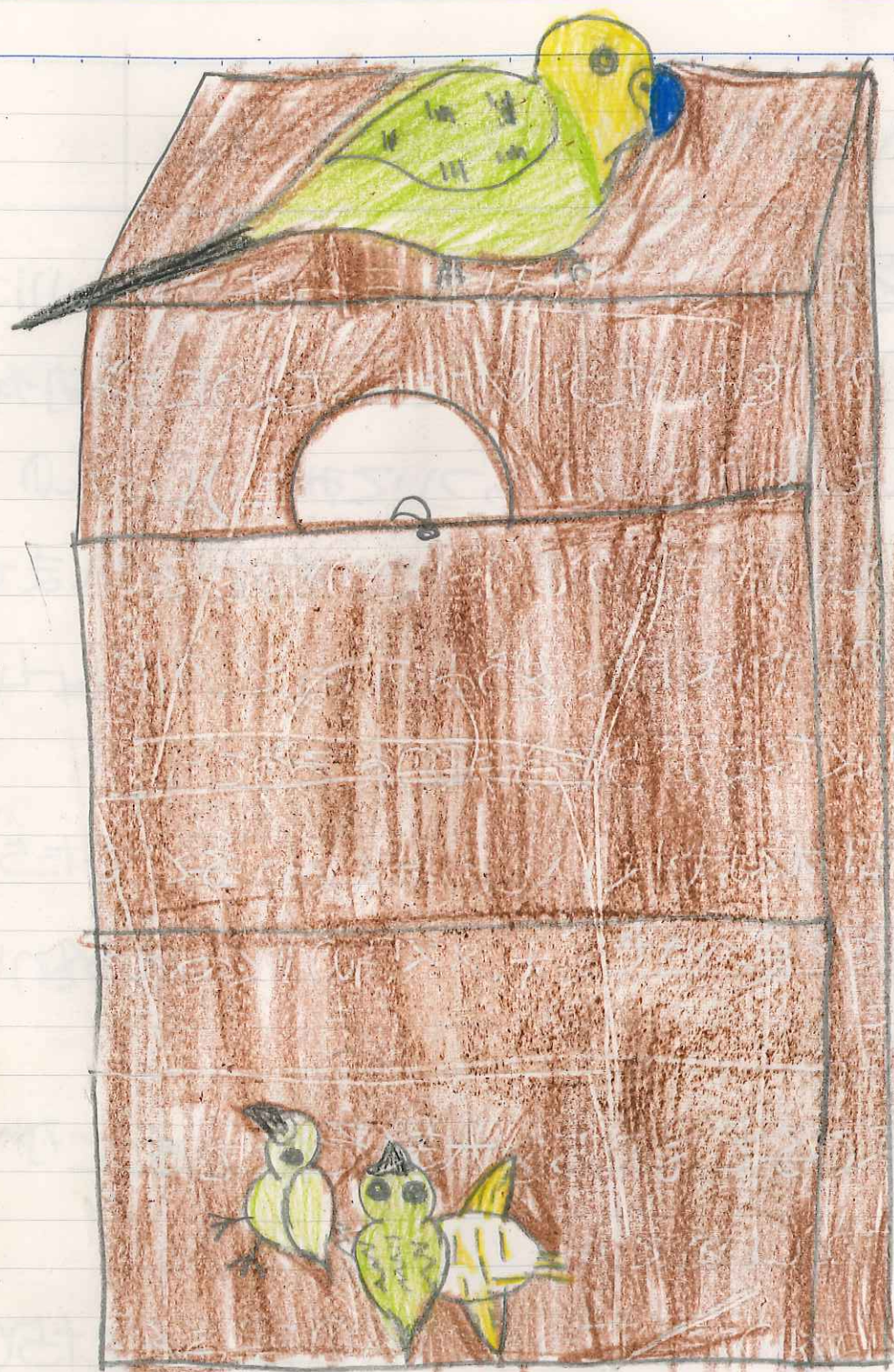
している。かんせんに、オスのまけてです。

3月5日 メスを別のかごにつしました。子どもたちのとまりに
メスのかごをおいだらバカになったようにカチャカチャ
いれものを口はしてつついてみたり、じぶんの
とまり木までかじったり、さかだちをしたりします。
メスのおやはたまごをうみつけると、カルビッシュが
たいなくなるからそうするのだそうです。

その間 オスおやはいっしょうけんめい子どもたち
にえさを食べさせます。メス鳥のやくめは終わり
ました。

ここまで子どもたちを大きく育ててくることが
むすかしいめです。

メスは別のかごにうつすまでの間子どもたちと
いっしょにすばこの中でねます。



3月6日 オスはおとなしいので、すばこの上にあがった時
すばこの下からみたうずばんめのひなはまたかんぜん
にはねがはえていませんでした。白いうぶがただけです。
オスはひして子どもたちにえさをはこびます。
1ばん始めに、えいようのあるあわ玉と、^緑えさを食べます。
2ばんめにかいからを食べます。3番目に、は、は
(はくさい、キャベツ)を食べます。4番目に、ひえあわえさを
食べます。5番目に水をのみます。じゅんじゅはいろいろです。

3月10日 子どものつめがカツカツした音とはねのバタバタした
音がすばこの中から、きこえてきました。
1番目のひなの、すばこの上のあなから出るじゅんじゅが
はじまりました。すばこの下から上まで15cmあります。
そこを足のつめとはねでバランスをとって
上ります。



3月11日 オスは一日何度も子どもたちに、えさをはこびます。
1番目に生れたひなが、すばこのあなからはじめて
首を出しました。まわりの世界からあかるい世界へ
かれてびっくりしています。

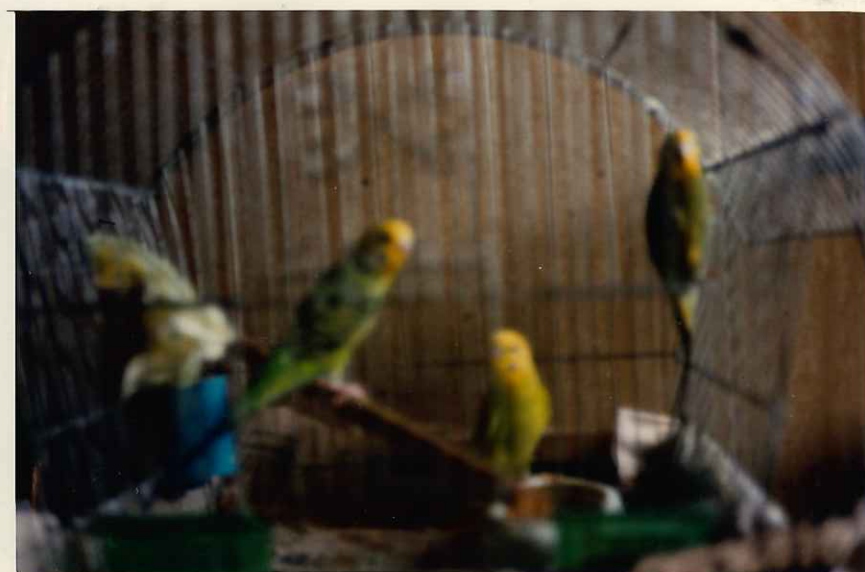
ぼくと目があうと、びっくりしてひこんでいきます。
鳥からみると人間の顔はかいじゅうに見えるの
かもしれません。

3月13日 毎日すばこのあなから出る、くんれんをいいます。顔は、
あなから出しますが、体が全部出るようになるまでは
日にちがかりそうです。お父さん鳥は、すばこのあな
のまえの台にえさを、すし口ばいにくわえておとします。
それを食べようと、ひなは、体をのりだします。
お父さん鳥は、あたまの毛を口ばいでひはって
あなからたそうとしています。ひなは



おっかなくて、なかなかおやの言うとおりに出てき
せん。おや鳥はひなのお母の上にのってみたり、それでも
出てきません。2番目のひなもはじめて首を出し
ました。お父さん鳥はあなに首をいれて、2羽の
ひなにえさをやったり、すばこの中の3はぐんめのひなに
えさをはこんだり、とてもいそがしそうです。2番目
のひなはオスどりにそっくりで、きれいな色をしています。

3月15日 や、と1番目のひながあなからでてきました。
体みはみどりに黒をまぜたようなきれいな色です。
あなを出てすばこに上るのはかんたんですが、
おりるのは大へむずかしそうです。
とてもしんちょうだ。お父さん鳥は、いっしょうけんめい
子どもの前でおりかた、はねのつかいかたを
おしえています。すばこの上からわざと下へおとし



1回目のこどもたち、

います。

ところが「赤ちゃんをたはそこにおとしてやり、よじのぼってきた子どもだけをそだてるのと同じだよ」と、お父さんが教えてくれました。ひなが新聞紙の上におちてしまったので、カゴのさくをよじのぼってすばこのあなに自分で入らなければなりません。下におちた時は、はねをバタバタしているだけです。そのうちさくに上り、口ばしで上の方のさくをくわえ、足を上に上げて、さくをつかみそれにはねをバタバタしてバランスをとってよるしかたをお父さん鳥は、小鳥にわかるまで教えているのです。それを見てぼくは、えりなと思いました。

3月18日 2番目のひなもすばこのあなから出てきました。お父さん鳥は、1番目のひなと同じようにもうくんねします。3番目のひなもすばこのあなからはじめて



首をだしました。1番目のひなと2番目のひなは
すばこのてっぺんでねますお父さんどりもいっ
しょうです。3番目のひなだけはすばこの中でねます。
まだ人間がこわいのです。

3月19日 ×スはまだ糸巾着をやぶきはいじめました。
すづくいのにゃんぴかもしれません。

3月22日 3番目のひなもすばこのあなから出てきました。
ギーギーバタバタとにきかです。えさも
自分で食べます。やっとみんな人まゑになり
ました。
3番目の体の色はきみどり色に黒がすこしまじっ
ています。1番目のひなもきれいです。

新新聞紙をやぶしている所



2回目のひなの観察

3月9日 メスはまたしんぶん紙をやぶきはじめました。すうぐりのじゅんひです。

3月23日 1回目の3羽のひなを別のカゴにうつしました。

すばこの中をそうじしたらふん(カ)刃のこなやわらくすかぼくのお父さんの手のひらに山もりなるほどできました。お父さん鳥がフンはこひをしなからたからです。

すばこの中に新しいわらをいれてやほした。

メス鳥は、鳥はまたすばこの中のわをな
おしにいします。 オス鳥もカゴの中に

いっしょにいれました。前と同じようにすばこの中にオス鳥は入ることができません。

3月24日メス鳥は1回目にしたときと同じようにまたえさを
食べ終わると、フンをするほかは、すばこからでて
なくなりました。

3月25日1にめのたまごをうんだようです。たまごをうみはじ
めるとメス鳥は自分でえさを食べるようになりま
す。いっしょうけんめいたまごをあためているだけです。フンをする
ほかは、すばこからでてきせんオス鳥は、さっそくメス鳥
に、えさをはなします。メスはすばこのおなかでえさをねだ
りにします。

3月26日2にめのたまごをうんだようです。

3月27日3にめのたまごをうんだようです。

3月28日4にめのたまごをうんだようです。

3月29日 5こめのたまごをうんだようです。

4月13日 2回目の番目の赤ちゃんたんじょうです。

4月16日 2回目の2番目の赤ちゃんたんじょうです。

4月23日 2ひき目まではなき声をききとることができけれど
あまりにぎやかななき声がきこえるので3ひきい
るようなきがします。

4月30日 2番目のひなは2週間になった。メスおやはおスを
いじめました。いっはなかなよしのメスおやがフン
はこ便をする、と強くなります。メスおやはひな
が小さいうちは、すばこの中でいっしょに体をつくら
せてねます。オスおや、メスとちがっていっしょには
ねないでえさをはこで食べさせるのが、終わるとい

とまり木でねます。

5月2日 2回目の鳥たちはすばこの下をあけていっても
みせられるようにしておきました。わりばしで
かこの下からときどきあけてみることにしま
した。

5月5日 はじめは、すばこの下をあけられるとこわがって
いた子どもたちもだんだん慣れてきました。
あけてみているとみなたちはくちをたしてオス
おやにねだるようになりました。

5月10日 まい日はすばこの下をあけて見めています。すばこの下の
へりにつかまてほとけのところを見にきたが
ります。手をたしてみるとすぐひこんでいきますが
またすぐまえのおへててきます。

5月13日 2回目の1番目のひなはじめてすばこの上のあなからくびを出しました。ゆめたつとじぶんの力で、はねをバタバタして足のつめをたててバランスをとってすばこの下からよじのぼってきます。黄色にきみと1)がまじって、お母さん鳥ににています。

5月17日 メスおやしき1)に下のしきがみくしんがんし)をやがきはじめました。またすぐ1)のじゅんびです。

5月19日 2回目の2番目のひなはじめて上のあなから首を出しました。下の方をいつもあけているから、今日上のあなから上ってくるとは思いませんでした。きみと1)に黒がまじってる。

5月20日 お父さん鳥は2回目に生まれた番目2番目のひなに飛び方やえさの食べ方をおしえている。



二回目の子どもたち(右のかご)
一回目の子どもたち(左のかご)にべりについて
います。

3番目のひなにえさをあたえようとしないからしん
たりするとたいへんなので、番目2番目を1回目に
生まれたるひきの戸所いれました。

はじめはびっくりしてピーピーなっていました。
1回目の子どもたちをおやとまちがえて、そばにいっ
てはおこられつつかれていました。

5月21日 2回目に生まれた1番始めのひなのはねをき
てやりました。かんざしに手のりになりましたが
いままで自由に飛べたのかきゅうに飛べなくな
って自分でもふしきかっているようです。

5月22日 オス鳥はじめてすばこの上のあなの前にある。
ふみ台をかじりました。

(2) 3回目のひなの観察

5月17日 メス鳥しき系紙をやぶ、救台めた。またすづくりの
じゅんちいです。

5月23日 すばこをせいにし、オス鳥メス鳥をいっしょに1羽しました。
さ、そくメスはすばこにはいってわらを口ばして
なおしています。

5月25日 1こめのたまごをうんだようです。

5月26日 2こめのたまごをうんだようです。

5月27日 3こめのたまごをうんだようです。

5月28日 4こめのたまごをうんだようです。

5月29日 5こめのたまごをうんだようです。オスは毎日のように
すばこをかじっています。メス鳥がたまごをあは

めている間たいていかもしれません。

5
5月30日

1回目2回目の子どもたちもおとなしくなっているしをやらたりしています。インコのせいじうかもしれません。またりさいうちからすづくりをするための練習かもしれません。

6月1

メス鳥はときどきたまごをあたためることをやめて、すばこのあなから出てきます。あつ、日かげづづいていいるからです。ほとんどもあつんだものすばこの中はもとあついと思います。

6月5日

オス鳥はメス鳥にえさを2回やりました。こんなに早くめづらしいのです。

6月15日 たまごのかえるのがおそいからぼくたちは、心配になてすばこの下をあてめました。たまごはちこはいっていました。

6月17日 3回目の番目の赤ちゃんたんじょうですぼくは、たんじょうの声をきいてほ、としました。(研究のかんさつできないと、こまるからです。)

3回目はオス鳥セックスせんメス鳥にえさをしないうでしん疹をしています。

6月20日 3回目の番目のみななたんじょうです。

オス鳥たいくつなのを毎日すばこのおくの台かじりをしていきます。みなたちのからたや目にはいらないかとしんばいてす。



6月26日 1回目2回目とはんたいにオス鳥メス鳥をおい
かけまわしていじめはじめました。今度はオス
を別のカゴに1匹きだけいれました。となりの
カゴには1回目2回目的の子どもたちがいるので
オス鳥はよろこんで子どもたちのところへ
いこうとしてなかなかあみこへは入りついていません。

6月30日 メス鳥はフンはこみを始めにしました。
3回目的の子どもたちはえさをはんてきたのとま
ちがってメスおやがはらっていきくとヒューヒ
ーなきだします。フンはこみのあいだにえさもはん
でいます。

7月3日 メスおや今日すばしをかい始めました。カレッシュムがそ
くのようにです。オスおや出してみるとすぐ子どもたちの

いくおへういていていけと10分もしない
うちでもたちはしんじりしてます。
16時きだけついで回ります。1つごろまで
おやうだとかわかるのたろうかなあ。

7月5日 なき声がだんだん大きくなってきました。
メス鳥は ぼくがえさをとりかえようとする
すぐすばこから出てきてつつこうとします。
子でもたちをてられると思っているからです。
オス鳥がたべさせていた1回目2回目の時はすば
この中のみ^みなたちをかんたんに見ることが
出きました。

7月10日 メスおやをすばこの上のあなへとこへ出してわり
ばしをいれていたずらをしているあな^みみさん



は、すばこの下をあけては、ときどきみて
いたのでも上からかおをたしたとき、ぼくの
かおをみても、びっくりしませんでした。
ぼくの方があまりみられたのでは
すかしくなっていました。

7月19日 2番目始めて穴から首をだす。

あなから体かなかなか出せない。あんなに
いのでしんちょうです。あなのふみ台を
かじって小さくしてしまたためか、穴から
上に出てくるのがおそい。また足にアがつ
かて歩くのがおそくな。またからかもしれない。

7月21日 1番目のひな女台初めてすばこのやねに上りました。

7月22日 3番目のひな女台初めて穴から首をだしました。



7月23日×スあゆえはこひをする回数文がすくなくなりました。
すの中にはいっている方が多くなりました。へんたすあ
と、思っすは“この下のふたをあけてみるとたま
ごがーこは、いって、いっしょうけんめいあたためて
いました。

7月24日 まえのすばこフンでべたべたしてしめまかしたので
(にゅうはいのため)新しいすばこをからてわら
いれてやりました。オスおやといっしょにいれました。
3回目の子どもたちをべつのカゴにいれてやまし
た。またたまごをうんたようです。きのうはたまごはから
なのですてました。

7月31日 ×スおやまえとおなじようにえさをたべワンをする
ほかはすば"この中に1はいいいは"なすです。

3回目の乃でもたちは、や、としば、んでえさをじょう
ずに食べられるようになりました。

8月13日 4回目のひなまたたんじょうです。

8月30日 4回目のひなは、たったの1ひきだけでした。



(3) どんなにいいえさを食べるか

ハートフート

。さしき用むきえさ(あわてえ)

。セキセイインコ中型インコ、文鳥、しまつ、
べにすずめ用

1kg

。ようりくそ、オーレオスイン、ビタミンミネラル

240円

などまぜだ高級えさです。

。せい長をたすける。

。さんさん(たまごをうむ)を強める。

。健康を進める。

あわ王。むきあわにたくさん玉子とはちみつをまぜてえ

(はちみつ)をそのままにかきふいふにひくい温度

人) でかんそうしえいようのたんかいえさです。

220g

。ひなをそだている時にあたえます。

100円

。すかさ出て自分でたべられるようになったひなに

あたえます。

こといのつかれの目ふくざい。

・生れた時から3か月ぐらいまであたえます。

フラグリン フード (みどりのお) 青葉のエキストラニーン(ネラルいぢみつ入リ)
青葉のかわりです。

50g 130円
・すびきつかれのえはうざいです。

フラガン (グリーンホーレ) カルシューム植物のようによくネラル入リ。(助カウ)
・やわらかいたまごや病気をいせぐ。

・とくにさんらんきやせ長の小鳥になくてはならないえさです。

・ふつうのえさ(あわ、ひえ)とは、另りのいれものであたえます。

やさしい オキナグツ

(みどり) のはくさい
(こいもの)

おなつな

おはこべ(すずめ草)

(4)セキセイインコはどここの国の鳥か
 ごうしゅう(オーストラリア南半分)でうまれました。
 木のどうくつにすをつくってむれなして生活して
 います。日本には明治の終わりにゆにゆされ
 ました。大変めずらしがられて、オナリやといふ
 に世界できに大りゅうはした。そのあと、
 昭和27年の夏ごろアメリカから日本にきた
 鳥もいます。そのころはめずらしく高いねたん
 だったそうです。

だんだんたくさんふえるようになってからはねさ
 がりしてきて子どもたちのごうかいでも買える
 ようになくなりました。

1つにつき2500円〜3500円ぐらいです。

セキセイ

背黄青インコと漢字で書いたとうりの鳥です。

(5) インコのしゅるい

- 1 セキセイインコ(黄色、青色、緑色、白色)
- 2 ボタインコ(全体緑色、頭のとこだけいい色)
- 3 コザクラインコ(全体できにボタインコよりうすい)
- 4 オカメインコ(ほぼにまるい大きい赤い色がある)
- 5 ダルマインコ(まゆげとふといひげがある)
- 6 キボウインコ(黒をませたうすい緑色)
- 7 ゴンゴウインコ(黒赤、緑、空青とだんだんに色ちかくなってゆく)
- 8 ヒワコシゴンゴウインコ(ぬのけねが赤せは緑しほ青色)

9 7カケホンセイインコ(全休てきにうすいきれいな
きみどり色)

。インコはオオムリななかまで人のまねをするのか
とくい。

。なき声としては、あま美しい声ではありません。

キーキー、ギーギー、キュッキューとなきます。

オスはメスよりも長く声をのびてなきます。

。セキセイインコは、こえをきく鳥でなく

きれいな色やすがたをみるかんしょうの
鳥なのです。

(6) セキセイインコのしゅるい。(色)

- | | | |
|----|----------|--|
| 1. | アルビノ | <p>全身がまっ白で“はねの色で赤い目をしています。</p> <p>赤い目でないものは、アルビノとはいってはいけません。</p> |
| 2 | ルチノ | <p>全身が黄色で赤い目をしています。</p> <p>赤い目でないものは、いけません。</p> |
| 3. | ハルクイン | |
| | ①黄色ハルクイン | <p>全身が白ではとこしが青(コバルトブルーグレー)でつばはぎには黒いはんと人があります。</p> |

③ クリームハルクイン 全身が黄色と白の中かんのク
 リーム色ではらやこしも緑と青
 のまじったあわい色でつばさには
 ほとんど"はんてん"はありません。

④ 4色ハルクイン 全身がクリーム白黄ではらやこし
 か"緑と青のまじった色、で"
 す。
 つばさにははきりしたはんて
 んがあります。

4 ホフインインブ 頭からせなかをあらってつばさ
 が"白色でどうたいが"青色
 をしています。

5	イエロー ウイング	豆頁やせやつはさが黄色で休たい が緑色をしています。豆頁やひたい やかたのふんがV字に見がさ のような系泉やはてんがしま す。
6	オパール 青色物	豆頁が白でつはさやどうたい が青色をしています。
7	オパール 緑色物	豆頁が黄色でつはさやどう たいが緑色をしています。
8	レインボー	豆頁が黄でつはさとどうたいが 青色をしています。

(17) 小鳥たちの色とオスメスのくべつ

[二回]



1匹メス



2匹オス



3匹オス

[三回]



1匹メス



2匹メス



3匹オス

[四回]



1匹オス



2匹メス



3匹オス

4 石研究で"わかったこと"

ほくはこの石研究で次のようなことがわかりました。

(1) インコのひなについて。

- ・ひなは1か月するとすばこから出て来るが、えさは1人でかんぜんには食べられない。
- ・すばこの土に上ってくる時小さいうちは口ばしと足と、はねでバランスをとって上る。
- ・大きくなるとすばこの上に上ってくる時は、足と口ばしだけで上る。

(2) セキセイインコのメスについて。

- ・すばこがないとき系氏をやってすをつくらせてあたまめている。
- ・たまごをあたまめている時は、オスをすばの中へ

ぜったいに入れない。

(3) ひながすはこの上にくるとお父さん鳥はどう
やって食べさせるか。

。口うつして食べさせる。それが終わるとすばこの

上の台に口はしにくゆえていたえさをだす。

(4) たまごをうむ時(自分で食べられるように
なるまでこのくみれん)
。カゴの外がわを黒っぽくいじろしきカゴバス

タオルでくるんでくらくしておく。(1か月間)

。たまごをあたためているときはぜったいカゴを
うごかして いけない。

。たまごをうむばしょは、わらの一番くぼん
であるところたまごをうむ。

。たまごをうんでからひながかえるまで
18日位かかります。1人だちするまで2ヵ月かかる。

。冬より夏の方が3日ぐらい早くひながかえる。

5 石研究反省

1. 夏休み中は自分から鳥にえさをやり、水をとりに来てやりたりすることがあまりできなかったのものでそのてんわるかったと思う。
2. 自分の石研究をじょうぶにするのをめすれて、お母さんにたよろうとしてしかられてしまった。ぼくはいやなときもがんばって夜おそくまでやりました。
3. 毎日の研究なのですしづきちゃんと書いていけばよかったと思います。
4. 今年の夏休みは、天気があまり続かなかったし雨がたくじめじめしていたのでその中のひなたちがかわいそうでした。3回目のひなたちは足にフン

のかたまりがついてあるくのがおそかった。

もうすこし早くきがつけばよかった。

5. このノートを見ると字がたいへんうざいです。
五年生になったらこのことをきちんとじょうずに
書くことにしたいと思います。

6. 話しのできない鳥でもお父さんお母さん
鳥は、小鳥たちになき声やたいどでしめし
ておしえていきます。

ぼくもてりたちにはけないで自分の力でなん
でもできる強い子になってお父さんお母さん
のいうことをきいてうまな人になるように
どかします。

6

参考資料

① 鳥すかん

② いいくすかん

~~協力~~してくれた人

① 小鳥屋さん

② お父さん

③ お母さん

④ おばあさん